

2022年3月30日(水)第五水曜祈祷会

詩篇115:1~18

「栄光の主に信頼せよ」

【観察と黙想】

1. 1~3節…

①「私たちにではなく」「ただあなたの御名に」とは、著者がどんな状況にあると思いますか。

→諸国の民からのあざけりの中にある。

②「彼らの神は いったいどこにいるのか」と、諸国の民が言うのはなぜですか。

→神の民が厳しい現実直面しているから

③著者は「私たちの神」はどのようなお方だと言っていますか(3節)

→望むところをことごとく行われる(全能なる主)

2. 4~8節…

①著者は「彼らの偶像」はどのようなものだと言っていますか(4節)

→外見を装っても、人の手の業に過ぎない。

②「口」「目」「耳」「鼻」「手」「足」「喉」とは、偶像のどんなことを表していますか(5~7節)

→人や動物の形でも、その肢体は機能しない。

③偶像を造る者も、それを信頼する者も、「みなこれと同じ」とはどういうことですか(8節)

→虚しいものを頼りとする生活は、虚しいもの。

3. 9~18節…

①「イスラエルよ」「アロンの家よ」「主を恐れる者たちよ」とは、何を意味していますか(9~11節)

→神の民をさまざまに呼びかえている。

②著者はどうして「主に信頼せよ」と力強く言うのですか(9~11節)

→主こそ助け、また盾となってくれるから。

③「主に信頼せよ」と三回繰り返される言葉は、どんな約束につながっていますか(9~13節)

→主は私たちが御心に留め、祝福して下さる。

④「人の手のわざ」と「天と地を造られた方」とはどんな違いがありますか(15節)

→万物の創造主と被造物の絶対的な違い。

⑤「地は 主が人の子らに与えられた」とは、何を意味していますか(16節)

→神は人間に大地の管理を命じられた。

⑥私たちがこの世に生かされているのは何のためですか(18節)

→今よりとこしえまで主をほめたたえるため。

【適用と分かち合い】

①苦難の中にあって、私たちが忘れてはならないことはなんですか。

②偶像の神を信頼したり、拜んではならないのは、なぜですか。

③「主の信頼する」とは、具体的にどういうことですか。